

事務事業評価表

担当課	大町病院 部	経営企画室 課	経理 係	事務事業No.	801111
事務事業名	経営検討会議における健全経営の検討			会計	企業会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項 目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進				
後期計画掲載頁	72	頁	個別計画		頁
事業期間	平成 23 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	「市立大町総合病院経営検討委員会」を開催し、病院の役割や経営改善、経営形態のあり方など、病院運営の重要な事項について検討する								
事業の目的	地域の中核病院としての市立大町総合病院の担うべき役割や経営の健全化について検討する								
事業内容	5月31日開催し、病院の中期5か年計画「市立大町病院が目指す医療」の検討を行った。 10月24日開催し、平成24年度決算状況に基づき、病院の経営改革に向けての取組み、収支予測などの検討を行った。 また、三重県「松阪市民病院」の世古口務先生を講師として、経営改善に関する講演会を職員とともに聴講した。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		188 千円		千円		32 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		188 千円		千円		32 千円	
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	単位		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	経営検討委員会	回	2		2	1	200.0%	1
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①						-	-	
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
		「市立大町総合病院が目指す医療」として中期計画の内容検討及び経営改善についての検討							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	一部重複	高い	適正である
	点数	3	2	3	2	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	引き続き経営検討委員会を開催し、病院経営の健全化と経営基盤の強化を図っていく。					
	評価点合計						
	16 / 18						

事務事業評価表

担当課	大町病院	部	経営企画室	課	経営企画	係	事務事業No.	801112
事務事業名	医師・看護師・薬剤師等招聘対策事業					会計	企業会計	
まちのテーマ	安心・安全なまち					款	項	目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進							
後期計画掲載頁			頁	個別計画				頁
事業期間	平成	23	年	～	平成	27	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 医師、看護師、薬剤師等の不足の解消は、当院の喫緊の課題である。
 情報発信と収集を行ない人材紹介会社等も利用し継続的に職員の確保対策を実施する。

事業の目的
 医師をはじめとした医療スタッフの充実は、安定した収益を確保していく上で不可欠であるため、不足している医師、看護師、薬剤師等の増員を計画的に進めていく。
 (H24公営企業年鑑によると公立病院100床当たりの平均医師数12.0人、看護師62.9人、薬剤師数3.2人であり、大町病院は、医師6.0、看護師55.0人、薬剤師2.1人)

事業内容
 信州大学医学部への訪問依頼及び職員募集広告の掲載（医師、看護師、薬剤師）、看護師就職説明会への参加、職員募集用パンフレットの作成、人材紹介会社との連携強化
 信州大学医学部附属病院総合診療科の研修病院への誘致活動

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	6,115 千円	17,866 千円	15,359 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	4,243 千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	6,115 千円	17,866 千円	11,116 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	医師募集広告	社	3	3	4	4	100.0%	4
②	看護師、薬剤師募集広告	社	3	3	4	4	100.0%	4
③	信大総合診療医育成事業	人				-	-	2

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	医師数	人	19	17	17	23	73.9%	23
②	看護師数	人	149	154	155	160	96.9%	163
③	信大総合診療医育成事業	人				-	-	2

2. 数値で表せない効果
 (指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	医師は、信大病院総合診療科の研修病院に認定され、指導医等の派遣に向けて準備が進められている。今後、定着化に向けた取組みを進めるとともに、整形外科、脳神経外科、健診の常勤医師を招聘できる見込となったことから、積極的な広報を行い患者の増加対策を進めていく。また、引き続き内科医等、不足する医師の招聘に努めていく。 看護師については、一定の増員が図られてきているが、薬剤師については、依然として厳しい状況にあるため、安定的な確保に向けて奨学金制度の設置も考える必要がある。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	大町病院	部	経営企画室	課	経理	係	事務事業No.	801113
事務事業名	医療機器の整備と適正な更新					会計	企業会計	
まちのテーマ	安心・安全なまち					款	項	目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進							
後期計画掲載頁	72	頁	個別計画					頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等		

事業の概要
更新時期を迎えている機器が多いことや、医療技術の進歩により、新型医療機器の導入も不可欠な状況にあるが、経営状況や起債による後年度負担を考慮し、計画的に更新を進めている。また、県の地域再生事業補助金を活用し、救急医療やがん診療に必要な医療器械整備を進めている。

事業の目的
高度医療器械の更新をはじめ、必要な医療器械の計画的な整備を図る。

事業内容

- ・内視鏡システム更新、増設
- ・産婦人科、整形外科、検査室、小児科超音波診断装置更新
- ・透析監視装置の更新
- ・手術室全身麻酔器等の更新

 など、器械購入検討委員会において必要度が高い器械から更新及び増設している。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	114,673 千円	545,097 千円	162,939 千円
		国庫支出金	2,625 千円	42,625 千円	2,625 千円
		県支出金	千円	104,674 千円	26,537 千円
		起債	111,300 千円	378,800 千円	92,300 千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	748 千円	18,998 千円	41,477 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	医療機器	機種/台数	27/49	24/39	40/79	25/45	175.5	41/99
	②								
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②							
	③							
2. 数値で表せない効果 (指標) 耐用年数の経過した医療機器については、点検整備を行い、故障等の発生した機器について更新を行うことにより医療の充実を図る。								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	適正である
	点数	3	3	3	2	2	3
	今後の方向性	方向性 現状継続 評価点合計 16 / 18 担当部課等のコメント（事業改善案等） 院内の多職種で組織する医療器械購入検討委員会において、耐用年数や必要度、緊急性などの検討を行い、優先順位を定める中で、補助金など有利な財源を最大限活用しながら、計画的な整備を進めていく。 また、26年度は、県の地域医療再生事業補助金を活用し、MRIやCTなどの高度医療器械を主体に更新を進めていく。					

事務事業評価表

担当課	大町病院	部	庶務	課	施設	係	事務事業No.	801114
事務事業名	災害拠点病院耐震構造整備事業					会計	企業会計	
まちのテーマ	安心・安全なまち					款	項	目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進							
後期計画掲載頁	72	頁	個別計画					頁
事業期間	平成	22	年	～	平成	25	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 当院は、大北地域の災害拠点病院として指定されているが、西棟については昭和46年建築であるため、昭和56年施行の建築基準法の耐震基準を満たしていない可能性があり、20年度に耐震診断を実施している。この結果、大規模な耐震補強工事が必要となることが判明した。

事業の目的
 西棟には、3階に人工透析室、4階は、小児科、産婦人科病棟、5階は、療養病棟があり、1階は、外来診療科、薬品庫、調剤室、調理室等、地階は、病院の機械施設のコントロール室となっている。災害拠点病院として災害時に病院機能を維持していくために、当事業の実施が必要である。

事業内容
 栄養棟を新設し、西棟に耐震補強工事を行なう。

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	381,659 千円	295,830 千円	361,480 千円
	国庫支出金	10,600 千円	140,000 千円	157,901 千円
	県支出金			
	起債			
	その他財源	371,059 千円	155,830 千円	203,579 千円
	一般財源			

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	西棟耐震改修率	20	68.8	98	98	100	100
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①					-	-	
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 医療環境の変化、機械装置の進歩などに伴い必要となる施設改修要求があり、補強後の復帰工事に盛り込むことができるものについては随時対応している。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	低い	低い	重複なし	低い
点数	3	1	1	3	1	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	事業完了終了					
	評価点合計	耐震改修工事は平成25年度で終了。仮設施設の解体工事が未了。				
	12	18				

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	庶務課	施設係	事務事業No.	801115
事務事業名	院内設備改修事業			会計	企業会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項 目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成 20 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	直接患者の療養環境に関わる院内設備を計画的に整備・回収する。							
事業の目的	故障などで脱落すると療養環境に重大な支障を生じる設備について耐用年数を参照しながら計画的に更新する。							
事業内容	火災報知機・非常放送監視装置他交換設備工事・内科外来7診化工事・言語聴覚療法室整備工事・ナースコール設備工事							
事業費	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	総事業費（決算額）	27,000 千円	70,298 千円	39,197 千円				
	財源内訳	国庫支出金	千円	4,532 千円	千円			
	県支出金	千円	千円	2,782 千円	千円			
	起債	13,500 千円	56,700 千円	千円				
	その他財源	千円	千円	千円				
一般財源	13,500 千円	9,066 千円	36,415 千円					
活動指標	指標名	単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	整備対象設備	件	1	2	4	4	100.0%
	②							
	③							
成果指標	1. 数値で表せる指標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	設備機器の故障						
	②							
③								
2. 数値で表せない効果 (指標) 潜在的に存在していた、設備の故障危険性が減少している。								
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）								

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
		3	2	2	3	3	3
	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	医事 課	外来 係	事務事業No.	801116
事務事業名	受付・会計・レセプト事務業務			会計	企業会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項 目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成 13 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 受付、会計入力、日直、診療録管理、保険請求等の医事課業務を効率的に運営するための業務委託

事業の目的
 医事課業務は、病院経営において、収益の確保を図る重要な業務であり、診療報酬請求業務や外来受付業務は、専門的な知識が要求されるため、専門業者への委託により、業務の質の向上と効率化を図る。

事業内容
 ・外来受付、会計入力、外来診療報酬請求、日直事務業務
 ・耐震工事に伴う医事課事務室移動により、4月～7月の4か月間、時間外受付補助業務を委託した。

事業費	年度		平成23度	平成24度	平成25度
	総事業費（決算額）		42,777 千円	42,777 千円	43,121 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	42,777 千円	42,777 千円	43,121 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	二チイ職員	人	14	14	14.5	14	103.6%	14
	②	1日平均外来患者数	人	401	394	385	400	96.3%	420
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	外来査定率	%	0.11	0.08	0.08	0.08	100.0%	1.07
	②	外来返戻率	%	2.62	2.15	2.04	2	98.0%	2
	③								
2. 数値で表せない効果		(指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	普通	高い	重複なし	普通	改善の余地あり
		3	2	3	3	2	2
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	レセプトの精度を高める研修会などを積極的に実施することで、単価を引き上げるとともに、業務の見直しを行い効率化を図る。また、接遇研修を定期的に行い、患者サービスの向上に努める。収益の要である医事課を強化するためにも、職員のプロパー化を図り、委託業者の指導監督を行う必要がある。					
	評価点合計						

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	庶務課	施設係	事務事業No.	801117
事務事業名	職員宿舎整備事業			会計	企業会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項 目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成 25 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	職員宿舎の建設								
事業の目的	当院の基幹型初期臨床研修医、信州大学総合診療科研修医、臨床実習生と研修医、看護大学の研修実習生等の受入に当たり、当院が行うことが条件となっている住居を安定的に確保するため。現在は、随時、アパートを賃借している。								
事業内容	職員宿舎の建設。25年度は基本設計委託。支払なし。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		千円		千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		千円		千円		千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	研修医等	人		13	23	20	115.0%	20
	②	看護大学研修	校		1	1	1	100.0%	1
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25 (%)	(H26)	
	①								
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標) 同時期に受け入れる研修医等の最大数である、10人程度に対応できる施設を設計。H26年7月からの信大総合診療科の指導医・研修医の受け入れにつながった。							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	普通	普通	高い	重複なし	普通	適正である
		2	2	3	3	2	3
	今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	継続						
	評価点合計	15 / 18					

事務事業評価表

担当課	大町病院 部	医事 課	入院 係	事務事業No.	801118
事務事業名	DPCベンチマーク分析事業			会計	企業会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項 目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進				
後期計画掲載頁	72	頁	個別計画		頁
事業期間	平成 25 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 当院は、平成21年4月よりDPC（診断群分類包括評価制度）対象病院となり制度導入5年目を迎えている。DPC制度によって得られるデータは、今後の医療政策の重要なエビデンスとなることから、①マイナス要素の洗い出し、②適正なコーディングの検討、③エビデンスに沿った診療の確立を図るうえで、DPCデータ分析、特にベンチマーク分析を行う必要がある。また、経営改善の強化を図る中で、現状の課題把握から改善目標の設定、改善効果の測定までの一連の作業について、具体的かつ迅速な対応が必要となっている。

事業の目的
 ベンチマーク分析を行うことにより、適正なコーディングのほか、自院の立ち位置や強み・弱みを把握し、医療の質の向上と健全な経営につなげることが可能となる。さらに、医療資源の投入方法、経営課題の把握、改善目標の設定および改善効果の測定が戦略的・継続的に可能となる。
 ●医療の質の向上 ●経営の安定化 ●患者満足

事業内容
 統計・分析
 ・疾患別行為別等ベンチマーク分析
 ・DPCデータおよびレセプトデータ精度チェック
 ・パス分析
 ・医療係数分析 ほか
 分析結果のフィードバック

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）		千円	千円
	国庫支出金		千円	千円	千円
	県支出金		千円	千円	千円
	起債		千円	千円	千円
	その他財源		千円	千円	千円
	一般財源		千円	千円	4,725 千円

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	DPC委員会	回			8	12	67	12
②	幹部会	回			8	12	67	12
③	運営会議	回			8	12	67	12

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	DPC委員会	回			8	12	67	12
②	幹部会	回			8	12	67	12
③	運営会議	回			8	12	67	12

2. 数値で表せない効果
 （指標）
 DPCデータ・レセプトデータの精度向上、査定・返戻対策

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

厚労省へ提出したデータの医療係数への反映は翌年となる。また、係数値の決定は相対評価となるため予測が難しい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である	
点数	3	2	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	現状継続	システム導入により、データ処理に要する時間が節約できるとともに、煩雑なデータ加工作業が不要になることから、素早い情報の提供（共有化）が可能となるなど、迅速な対応を図ることができ、 また、医療の視点・経営の視点から様々な統計データの分析が可能となり、分析スキルの習得・向上が図られる。 さらに、病院名公開ベンチマークサービスにより、他院の詳細情報が得られることから、同サービスの導入について検討している。				
	評価点合計	17	18				